

1 創郷力を育む町づくり

地域福祉への住民理解

- (1) 町民の福祉意識の醸成
- (2) 生涯を通じた福祉教育の推進
- (3) あいさつ運動の推奨

地域福祉の担い手の育成

- (1) 活動主体の発掘・育成
- (2) 各種団体の連携体制の強化

地域活動の推進

- (1) ボランティア活動の促進
- (2) 社会福祉協議会活動の推進
- (3) 町民が共に支え合う仕組みづくり



新庄南高金山校スキー部によるごみ拾いボランティアの様子。その他にも、町内の学校や団体がたくさんボランティアを行っています。

3 安全・安心して生活できる町づくり

安心して暮らせる生活環境の整備

- (1) 見守り活動の推進
- (2) 医療体制の充実
- (3) 福祉のまちづくり推進
- (4) 相談窓口の充実
- (5) 生活課題を有する地域住民への相談支援体制

安心・安全な地域づくり

- (1) 災害時・緊急時に機能できる仕組みづくり
- (2) 災害時ボランティア活動の強化

地域への愛着を育む

- (1) 利用しやすい公共交通の整備
- (2) 日常生活の利便性の確保

居住環境の充実

雪対策の推進

きめ細やかな除雪作業により、安心で安全な冬期間の交通を確保します。



2 優しさあふれる健康と福祉の町づくり

権利擁護事業等の推進

- (1) 成年後見制度
- (2) 自立支援事業の推進
- (3) 虐待防止の推進と虐待への対応
- (4) 地域における権利擁護の推進

福祉サービス・支援の強化

- (1) 「健康長寿88運動」の推進
- (2) 子育てへの支援
- (3) 高齢者への支援
- (4) 障がい者（児）への支援
- (5) 分野横断的な福祉サービス等の提供

住民の交流の場の充実

- (1) 地域交流の拠点づくり
- (2) 世代間交流の促進
- (3) 地域住民等が集う拠点の整備や既存施設の活用

4 地域共生社会の実現に向けたまちづくり

金山版CCRC構想の実現

制度の狭間問題への対応

就労に困難を抱える地域住民への横断的な支援

自殺予防のための支援

保健医療・福祉等の支援を必要とする住民への社会復帰支援



金山版CCRC構想のイメージ図。様々な問題を克服しながら、地域共生社会の実現に向けたまちづくりを進めていきます。

5か年計画

2019年度

環境変化を踏まえ
適宜見直します！

2023年度

計画策定の背景

日本全体を取り巻く人口減少・少子高齢化は、金山町においても共通課題の一つ。また、家族構成の多様化などにより地域コミュニティの在り方も大きく変化しています。このような状況を踏まえた地域づくりのため、国は高齢期におけるケアを念頭に地域包括ケアシステムの構築を進めています。

象外の生活課題への対応や、複合的な課題を抱える人・世帯への対応に限界が生じているのも事実。さらに、少子高齢化にともない金山町を含む中山間地域などで、地域の実情に応じた福祉の体制整備や人材確保が難しくなっています。

新たな地域共生社会の実現に向けて

地域での自立した生活を包括的に支援する「地域包括ケアシステム」。この考え方は、他の分野にも応用できます。そのためには、地域や個人が抱える生活課題を町などと協

働いて解決できるように「我が事・丸ごと」の地域づくりを育む支援体制の整備が必要となります。

町では、その考え方を基に「地域共生社会」の実現を目指します。障がい者や子ども、生活困窮者などにあっても、地域住民の誰もが役割を持つことがとても重要です。支え合いながら、自分らしく活躍できるコミュニティを育てるとともに、公的な福祉サービスと協働して助け合って暮らすことのできる地域づくりを推進するため、多くの皆さんの協力を得て本計画を策定しました。

自助・互助・共助・公助の考え方



を策定！

